

平成25年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月5日

上場会社名 シグマ光機株式会社  
 コード番号 7713 URL <http://www.sigma-koki.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年4月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 森 リョウジ  
 (氏名) 菊池 健夫

TEL 03-5638-8221

上場取引所 大

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年5月期第3四半期の連結業績(平成24年6月1日～平成25年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第3四半期	4,649	△13.7	174	△60.9	231	△56.1	142	△45.0
24年5月期第3四半期	5,387	1.3	445	△15.6	526	△18.3	258	△31.3

(注) 包括利益 25年5月期第3四半期 213百万円 (1.9%) 24年5月期第3四半期 209百万円 (△16.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年5月期第3四半期	18.89	—
24年5月期第3四半期	34.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年5月期第3四半期	12,885	10,809	83.6	1,430.82
24年5月期	12,991	10,837	83.2	1,434.66

(参考) 自己資本 25年5月期第3四半期 10,777百万円 24年5月期 10,806百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年5月期	—	17.00	—	17.00	34.00
25年5月期	—	15.00	—	—	—
25年5月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成24年5月期の第2四半期末配当金17.00円及び期末配当金17.00円には、第2四半期末配当金2.00円及び期末配当金2.00円の記念配当が含まれております。

3. 平成25年5月期の連結業績予想(平成24年6月1日～平成25年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,590	△5.2	380	△11.3	470	△16.6	240	△12.4	31.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細については、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年5月期3Q	7,811,728 株	24年5月期	7,811,728 株
② 期末自己株式数	25年5月期3Q	279,328 株	24年5月期	279,328 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年5月期3Q	7,532,400 株	24年5月期3Q	7,501,688 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。又、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済に関して、欧州経済は欧州債務問題の域内主要国経済への波及による景気の悪化が顕在化し、米国経済は緩やかな回復傾向にあるものの「財政の崖」問題と雇用情勢の推移の影響が影を落とし、中国やインド等の新興国経済は輸出の減少と内需の低迷による景気の成長鈍化が見られる等、景気減速感が強くなっております。又、わが国経済においては、新政権による経済政策の期待から円安や株価上昇の動きがみられ、マインドの改善が徐々に実体経済に波及し始めているものの、景気回復までは未だ時間がかかると思われます。さらに、世界経済の景気減速や近隣諸国との関係悪化等の影響等もあり、依然として景気の先行きが不透明な状況で推移しております。

当社グループが主力とする官公庁向け研究開発分野においては、昨年12月の政権交代以降の補正予算成立等の経済政策への期待等により、光学要素部品、光学ユニット製品や光学システム製品の需要動向に回復の兆しは見られますが、未だ研究開発予算の執行に対して慎重な動きとなっており、横ばいで推移いたしました。民間向け研究開発分野並びに産業分野においては、スマートフォンやタブレットPC等の携帯端末市場に関連する半導体・電子部品業界やモバイル用FPD業界、及びバイオ業界等では一部の需要は堅調に推移するも、国内全体としては新規設備投資が引き続き停滞しているため、光学要素部品、光学ユニット製品や光学システム製品ともに低調に推移いたしました。又、さらなるコスト削減要求や短納期要求等、依然として厳しい事業環境が続いております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は46億4千9百万円（前年同期比13.7%減）、営業利益1億7千4百万円（前年同期比60.9%減）、経常利益2億3千1百万円（前年同期比56.1%減）、四半期純利益は1億4千2百万円（前年同期比45.0%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ①要素部品事業

当事業におきましては、官公庁向け研究開発分野で、お客様の品質・価格・納期の要求に応じた製品提案と早期製品化対応により、レーザ周辺、観察系（顕微鏡）周辺の先端研究の案件獲得を継続して推進しております。昨年12月の日本国内の政権交代後、補正予算の成立及び為替の円安基調等により引合い件数にも徐々に回復の兆しは見えておりますが、公共予算の成立から執行までの時間が限られていることから売上高の増加効果は限定的であり、前年同期並みの推移となりました。

民間向け研究開発分野及び検査・製造装置の組込み用途においては、携帯端末市場の活発な販売動向に牽引された半導体・電子部品市場やモバイル用FPD市場での設備投資等の需要に増加傾向は見られましたが、海外への生産シフトの進展によって国内需要は依然慎重な動きとなっております。又、バイオ業界向けの自動位置決め装置及び、医療分野、通信分野向けの光学素子製品は一部堅調に推移するも、全体としては研究開発及び設備予算の縮小・凍結により、依然厳しい状況が続いております。新規研究開発用、装置組込用で使用される光学機器製品及び光学素子製品はこの影響を受け低調に推移いたしました。

これらの結果、セグメント間の内部売上高を含む売上高は40億8千7百万円（前年同期比11.7%減）となり、営業利益は6億7千万円（前年同期比23.8%減）となりました。

## ②システム製品事業

当事業におきましては、国内企業の新規設備投資、研究開発投資において依然慎重な動きが継続しております。官公庁向け生物・医療研究用バイオ関連製品や民間企業向け研究開発用光学ユニット製品及び光学測定装置と観察光学系システム製品の需要は横ばいで推移しております。

又、携帯端末市場の需要増加により、半導体市場向け検査装置用ユニット製品やモバイル用FPD市場向けレーザ加工機用ユニット製品の引き合いが一部増加傾向となっておりますが、依然国内の需要は冷え込んでおり、海外にシフトした生産設備に関しても、エンドユーザの予算執行状況や競合メーカーとのコスト競争は厳しさを増し、ユニット・システム製品に関しても低調に推移いたしました。

これらの結果、セグメント間の内部売上高を含む売上高は5億6千2百万円（前年同期比26.0%減）となり、営業損失は1億7千9百万円（前年同期は営業損失1億2千万円）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

## (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.6%減少し、64億4千3百万円となりました。これは、現金及び預金が5億8千7百万円減少し、有価証券が3億1千2百万円、たな卸資産が4千6百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.0%増加し、64億4千2百万円となりました。これは、機械装置及び運搬具が7千3百万円、無形固定資産が7千7百万円それぞれ増加し、投資不動産が5千6百万円減少したことなどによるものです。

その結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.8%減少し、128億8千5百万円となりました。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて9.0%減少し、13億6百万円となりました。これは、短期借入金が7千1百万円、賞与引当金が7千4百万円増加し、支払手形及び買掛金が3千5百万円、未払法人税等が1億1千9百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて7.2%増加し、7億6千9百万円となりました。これは、長期借入金1千1百万円、退職給付引当金が1千5百万円増加したことなどによるものです。

その結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて3.6%減少し、20億7千5百万円となりました。

## (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.3%減少し、108億9百万円となりました。

自己資本比率は、83.6%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年5月期通期の業績予想につきましては、平成24年12月25日に公表いたしました通期業績予想（連結・個別）からの変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## (減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年6月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,471,623	1,884,391
受取手形及び売掛金	1,874,429	1,865,814
有価証券	281,193	593,822
商品及び製品	911,704	965,821
仕掛品	160,159	197,899
原材料及び貯蔵品	747,850	702,031
繰延税金資産	116,791	141,013
その他	55,266	96,488
貸倒引当金	△4,261	△4,152
流動資産合計	6,614,757	6,443,128
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,170,637	1,139,444
機械装置及び運搬具（純額）	522,712	595,938
土地	1,338,087	1,338,087
その他（純額）	123,614	119,619
有形固定資産合計	3,155,050	3,193,090
無形固定資産		
その他	156,461	234,000
無形固定資産合計	156,461	234,000
投資その他の資産		
投資有価証券	233,470	240,612
繰延税金資産	128,982	126,616
投資不動産（純額）	2,291,734	2,235,135
その他	434,403	436,347
貸倒引当金	△23,345	△22,992
投資その他の資産合計	3,065,245	3,015,719
固定資産合計	6,376,758	6,442,810
資産合計	12,991,515	12,885,939

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	801,220	766,064
短期借入金	129,000	200,000
未払法人税等	119,611	—
役員賞与引当金	12,000	—
賞与引当金	—	74,038
受注損失引当金	16,457	17,097
その他	358,233	249,405
流動負債合計	1,436,522	1,306,605
固定負債		
長期借入金	119,000	129,000
退職給付引当金	359,619	374,700
役員退職慰労引当金	159,213	169,236
その他	79,689	96,422
固定負債合計	717,522	769,360
負債合計	2,154,044	2,075,965
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,623,347	2,623,347
資本剰余金	3,092,154	3,092,154
利益剰余金	5,518,522	5,419,789
自己株式	△204,052	△204,052
株主資本合計	11,029,972	10,931,238
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,917	21,155
為替換算調整勘定	△239,440	△174,814
その他の包括利益累計額合計	△223,523	△153,658
少数株主持分	31,021	32,393
純資産合計	10,837,470	10,809,973
負債純資産合計	12,991,515	12,885,939

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)
売上高	5,387,510	4,649,541
売上原価	3,566,486	3,090,171
売上総利益	1,821,023	1,559,369
販売費及び一般管理費	1,375,395	1,385,296
営業利益	445,628	174,073
営業外収益		
受取利息	2,740	3,162
受取配当金	1,246	1,465
不動産賃貸料	130,431	132,156
その他	31,432	17,369
営業外収益合計	165,850	154,154
営業外費用		
支払利息	2,638	2,622
不動産賃貸費用	70,852	80,888
その他	11,011	13,443
営業外費用合計	84,503	96,955
経常利益	526,975	231,272
特別利益		
投資有価証券売却益	35	—
固定資産売却益	71	164
特別利益合計	106	164
特別損失		
投資有価証券評価損	1,600	—
固定資産売却損	271	423
減損損失	—	3,581
特別損失合計	1,872	4,005
税金等調整前四半期純利益	525,209	227,431
法人税、住民税及び事業税	290,598	109,577
法人税等調整額	△22,851	△23,724
法人税等合計	267,746	85,852
少数株主損益調整前四半期純利益	257,462	141,579
少数株主損失(△)	△1,310	△723
四半期純利益	258,772	142,303



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	257,462	141,579
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	287	5,238
為替換算調整勘定	△48,111	66,721
その他の包括利益合計	△47,824	71,960
四半期包括利益	209,638	213,539
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	211,758	212,167
少数株主に係る四半期包括利益	△2,119	1,372

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成24年2月29日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	合計
	要素部品事業	システム製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,628,285	759,224	5,387,510	—	5,387,510
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	744	744	(744)	—
計	4,628,285	759,968	5,388,254	(744)	5,387,510
セグメント利益(又は損失)	879,578	(120,774)	758,804	(313,175)	445,628

(注) 1. セグメント利益(又は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益(又は損失)の調整額は、セグメント間取引消去△744千円、全社費用△312,431千円であります。なお、全社費用は各報告セグメントに配分できない管理部門等に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成25年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	合計
	要素部品事業	システム製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,087,527	562,013	4,649,541	—	4,649,541
セグメント間の内部売上高 又は振替高	422	527	950	(950)	—
計	4,087,950	562,541	4,650,491	(950)	4,649,541
セグメント利益(又は損失)	670,604	(179,191)	491,413	(317,339)	174,073

(注) 1. セグメント利益(又は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益(又は損失)の調整額は、セグメント間取引消去△950千円、全社費用△316,389千円であります。なお、全社費用は各報告セグメントに配分できない管理部門等に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに帰属しない売却予定の投資不動産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては3,581千円であります。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する情報

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年6月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更したため、報告セグメントの減価償却方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

この変更による、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。